

子どもへの

水銀・化学物質の

影響を考える

2026年
9月27日(日)

13:30～16:30

(13:00開場)

会場

もやい館
3階もやいホール

第1部

水俣からの警告：
次世代に及ぼす化学物質汚染の影響

フィリップ・グランジャン 博士

講師

フィリップ・グランジャン博士 Philippe Grandjean
デンマーク国立公衆衛生研究所 米国ロードアイランド大学

1972年の国連環境会議に参加した坂本しのぶさんをテレビで見たことをきっかけに中毒や水俣病の調査を開始。以来、神経毒性物質の研究に生涯を捧げています。

魚類に含まれる水銀の健康影響の研究は世界的に知られており、PFASなどのフッ素化合物、DDT、PCB、トルエンなどの重金属などの環境化学物質が子どもや胎児の神経発達に及ぼす有害性も報告しています。



第2部

水俣における胎児期曝露世代の影響と課題

頼藤貴志 教授 [岡山大学 疫学・衛生学分野]

水銀をはじめとする化学物質は、わずかな量であっても幼い子どもの脳や身体の発達に深刻な影響を及ぼす可能性があります。化学物質による「見えない健康被害」研究の世界的第一人者であるフィリップ・グランジャン博士をデンマークからお招きし、水銀が子どもに与える影響についてお話しいたします。また、水俣における胎児期曝露の長期的な影響を調査されている頼藤貴志教授（岡山大学・医師）による補足解説も交え、理解を深めます。

入場無料

主催

水銀に関する水俣条約推進ネットワーク
(MICOネット)

水俣市月浦900-1 水俣ほたるの家気付
電話・FAX 0966-83-8884

水銀による健康被害を世界中
からなくしたいと考え活動し
ている市民団体です

